

# 虚の符

洪水企画 2018.1.10

ソラ  
イカダ

http://www.kozui.net

## 叛旗 ―「北」字解

北海道開拓一五〇年  
に寄せて

二条千河

火山灰の丘、  
けだものの咆吼、  
氷雪の原野、  
すべてが互いに背き合っている  
この地が、  
敗北者よ、おまえの生きる土地だ。  
さあ、未開地の空を見よ、  
不動の北極星は  
どこにあるか、

反逆セヨ、と誰かが叫んだあの日  
それはおまえの前途に瞬いていた。  
しかし今、  
流転する無数の星屑の中に  
動かざるものを見出すことはできない、  
背信者よ、おまえの信じたものは  
どこにあるか。

身を打つ飛鷹、  
守られない約束、  
踏みしじられた誇り、  
この現実に向きようとするならば  
反逆者よ、その汚名を負った者よ、  
おまえは北に枕して眠るよりほかにない。  
そのときこそ其の敗北ではないのか。  
さあ、耳を澄ませよ、  
不動の北極星が  
おまえの背後で叫び続けている、  
反逆セヨ、と  
今また、その運命に  
反逆せよと!

## ヴェリチコヴィッチのカタストロフ画に寄す

second version たなかあきみつ



### I 濃霧のフラグを引き抜いて

頬骨の突き出た元高校教師はハスキーヴォイスの持ち主だった  
埃っぽいおんぼろ扇風機ほどではないが不意に彼女の首筋が緩んだ  
あの頃はもう夫は寝たきりだったのか、今や老女優の迫真の  
演技のみならず死別の覚悟が彼女を氣丈に見せていたのか  
血まみれの鉤の動向を幻視する瘰癧の滑車の（上昇）も（下降）もだ  
血痰の括弧をはずした双方のウェクトルを追えば身を捻っては叫び  
指紋の括弧をはずした小柄で無防備な（Eben Karandou）曲なる  
雨期のスプラッターもどきころころした体形の（ソリアシム）の  
括弧をきいさい歌姫ヨゼフィーネさながら各カastropheの仰角を  
喉のアpostrofに季節外れの喪服のほつれを思いきり

これが校庭の *Etiquette* の他人事になる瞬間を見計らって  
ゲッシ類願望の実現をはかるプロファイルの赤色でも緑色でも  
（バルトクS.Q）暈倒の傾斜角はきびしい。間の唐委木か  
そもそも暗渠への投首が滑り込むジュラルミンケースか、  
思案の斜影の耳もとは豹のタツプダンスが檻の床を踏みならす

II ル・クレジオンヴェリチコヴィッチ《散腫く、あるいは暗闇の  
断面図を想起せよ》なんども翻転して  
《視線の奥底にはこれらの石しかなかった

- |     |      |        |
|-----|------|--------|
| 瑪瑙  | 金紅石  | 硬マンガン鉱 |
| 方鉛鉱 | 銅玉   | 方解石    |
| 黒曜石 |      | 緑玉髓    |
| 碧玉  | 風信子鉱 | 綠石     |
| 紅玉髓 | 辰砂   | 苦礬石    |
|     | 玄武岩  |        |
| 蛇紋岩 | ウラン鉱 |        |

（ル・クレジオン詩ヴェリチコヴィッチ画《散腫》一九七三年  
Fata morgana 刊49・50頁から翻訳して引用）

### III マルドロール発祥のデプリの swing に対抗するには

間断なく（ラジオが音声を振りまいては）マルドロールを  
リフティング、すかさず蹴り上げる  
いそいそと岩峰の歓待する剣山という類推の山のデイストピア  
着地は断続的捻挫もしくは光の歪みは快哉を叫ぶ  
張り巡らされた非常線の裏をかくような  
鷲頭の原色の小首を傾げる間もなく解体された消火栓これほど  
静かなる修羅場における不機嫌とファイトははたして同義語か  
ちかごろやたらと不眠症をかこつボクサーも  
元サーカスのブランコ乗りもびゅんびゅん  
間断なく絶食（減量）のスウィングドアを煽る



### （96）

リル・エアブレンは飛び立つ  
折からの雷鳴と風雨  
未来へ 過去へ  
輝く風聲を狩りに

飛行機が飛ぶにはそれなりの理由がある  
世界の測量は急務  
首都を定めなくては  
しかし自分の位置もわからない  
篠突く雨が夢みるエアブレンを目覚めさせる  
冷たい機械への目覚めの悲しき  
言葉にならないプロペラの吹き  
広いはずの空はまったく広がらない  
雷 リル・エアブレンをかすめ  
雷 リル・エアブレンをかすめ  
雲の上 雷と雨の上へ  
冒険者は針路をさぐる

### （108）

「白いセキセイインコ  
探しています」  
インコはきつと空にいる  
空を探せ  
逃げたのなら  
逃げたかったのだ  
インコはきつと空にいる  
空を探すな  
ケージは扉をひらいたまま  
家出した主の帰還を  
空しく待っている  
空はケージの外に広がる  
身を帯帯の虹に染めて  
奇蹟となつて  
内なる空へ インコは  
いつか帰ってくる

## 京浜東北線

平井達也

明日は別れに行くのだ  
さよならの贈り物を持って  
けいひん、とう、ほく、せんで  
忘れると告げられに  
神は常に第三者である  
けいひん、とう、ほく、せんで  
価値は交換され続ける  
因果から独立させて事象を引用してみよ  
あなたの、とう、のまえ、にたつ  
法則性の排除を志向する欲望の法則がある  
あなたの、へや、ほく、せんで  
株価は上昇を続けており、経済は引き続き  
回復基調にあると言われている。国際状況  
も緊張というよりは互いの出方を窺いなが  
らの膠着状態といったところだ。近々、認  
知症の根本的な回復につながる生理学上の  
発見が公表されるらしい。

## 「がははははっ」の行方

酒見直子

わしや幸せじゃあ 一つ死んでもいいわい  
「がははははっ」  
じいちゃんは助走をつけて  
棒高跳びの選手のように  
三途の川を渡っていった  
あとに残された  
「がははははっ」は  
パチンコ玉のように ビルとビルの間を  
はじかれ はねかえり だんだん勢いを増して  
空の彼方にとんでいき  
光るお星様に  
残念ながらなれなくて  
コウボ菌みたいに分裂して増えて  
下駄の鼻緒の上 着古した木綿の甚平  
じいちゃんの好きだったセブンスターなどから  
発見されるようになったのだった

心に言葉を与えて 溶けるまえに  
五三つ時  
虫取り網を手に  
「がははははっ」をつかまえに行く  
「がははははっ」はいつの間にか生物に分類され  
図鑑に載るようになっていた  
主な生息場所は花びら踊る桜の木  
幹を見ると  
「がははははっ」が集まっている  
しずかに近づいて網を振る  
言葉は肉体から生まれるのだから息がある  
呼吸のリズムに耳をすましてごらん  
ほら みて  
足が生えはじめているよ

有機体 そのやわらかなものたちは  
分裂し 増殖し 螺旋をえがき 成長し  
絶えず流れながら 形をたち  
繰り返えし 繰り返えし  
「がはははははっ」は羽がないのに空を飛ぶ  
虫取り網をすりぬけて四方へ散ってゆく

わしや幸せじゃあ 一つ死んでもいいわい  
「がはははははっ」

